

作成日 2025 年 9 月 30 日

(臨床研究に関するお知らせ)

下垂体腫瘍で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学脳神経外科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、診療情報や検査データ等を解析する「観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を受け、学長の許可を得て行うものです。通常の診療で得られた情報等を利用させて頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

当院における下垂体腫瘍についての臨床的特徴と治療に関する後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学脳神経外科学講座 講師 矢本 利一

3. 研究の目的

下垂体腫瘍は下垂体前葉・後葉に発生する腫瘍の総称で、多くは手術加療が第一選択となります。近年、下垂体腫瘍の分子生物学的特徴が明らかとなり、それによって生命予後が変化することが明らかとなってきています。下垂体腫瘍の手術方法はほぼ標準化されていますが、摘出度は症例ごとに異なり、術後の再発や予後に関しては上記の分子生物学的特徴以外にも腫瘍の進展度、摘出方法、残存腫瘍体積などによっても変化がみられます。このような現状のなか、手術適応決定や、術後の予後・再発を規定する因子については更なるエビデンスの蓄積が望まれていると考えます。この研究では、当院の下垂体腫瘍において臨床学的特徴や治療方法と生命予後・機能予後を後方視的に観察し、臨床的特徴の把握、治療の効果判定、予後予測因子の探索を行い、将来的には下垂体腫瘍患者の予後改善につなげたいと考えています。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

下垂体腫瘍の患者さんで、2011 年 5 月 1 日～2025 年 8 月 31 日までの期間中に、当院で治療（検査）を受けた成人の方

(2) 研究期間

研究実施許可日～5 年間

(3) 試料・情報の利用又は提供を開始する予定日

研究実施許可日

(4) 利用させて頂く試料・情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢や性別、既往歴、常用薬、生活歴、家族歴などの背景情報のほか、身体所見、血液検査結果、画像検査結果、生理検査結果、病理組織検査結果など検査結果、治療内容、治療後の経過に関する情報です。

(5) 方法

下垂体腫瘍の臨床兆候と画像所見、治療法、治療後の経過および予後について、統計学的解析手法を用いて解析します。

5. 外部への試料・情報の提供

ありません。

6. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

7. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、既にデータが解析され個人を特定できない場合など、研究の進捗状況によっては削除できないことがありますので、ご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

8. 資金源及び利益相反等について

本研究に関連して開示すべき利益相反関係になる企業等はありません。

9. 問い合わせ先

和歌山県立医科大学脳神経外科学講座

担当者：矢本 利一

住所：和歌山市紀三井寺 811-1

TEL：073-441-0609 FAX：073-447-1771

E-mail：tyamoto@wakayama-med.ac.jp